

あみ防災だより

阿見町防災アドバイザーを紹介



阿見町で活躍する防災アドバイザーを紹介します！



防災アドバイザーってどんな人があるの？

「防災アドバイザー」とは防災士※の資格を持ち、阿見町の防災力向上のため、地区防災計画や防災訓練のアドバイスなどを行う有志の人達です。令和2年度に「阿見町防災アドバイザー連絡会」を設置し、現在22名の防災アドバイザーが活動しています。



防災アドバイザーはどんなことをしているの？

実際に町や地区で行われる防災訓練に参加してアドバイスをしたり、地区防災計画を作成する時にお手伝いをしたりしています。



【写真左】
防災訓練でテントの
設営要領を説明

また、年に数回、阿見町の防災危機管理課と防災アドバイザーで「防災アドバイザー連絡会」を開催し、安心して安全なまちづくりを目標に、様々な意見を出し合い、防災力向上に努めています。

【写真右】
地区防災計画
作成のお手伝い



防災アドバイザーになれるのはどんな人？

防災アドバイザーとして活動できる人は次のとおりです。

- ・ 阿見町に住所を有している
 - ・ 満18歳以上である
 - ・ 学校(大学、専門学校を除く)に在籍していない
 - ・ 防災士※の資格を持っている
- このような条件があります。



【写真左】
河内町の防災士
との交流

※ 防災士になるには、日本防災士機構の研修機関が実施する「防災士研修講座」を受講し、「防災士資格取得試験」に合格することが必要です。

また、「救急救命講習」を受ける必要があります。

7月21日(日)に河内町と合同で広域避難受入訓練を実施し、阿見町防災アドバイザーと河内町防災士会が交流を深めました！
訓練の内容は次回のあみ防災だよりで掲載します！

【写真右】
三角巾の取扱い
訓練を見学



自主防災係員補助金活用事例

飯倉二区 系編

令和6年6月、飯倉二区において自主防災組織補助金（資機材の購入補助）を活用して、LPガス発電機を購入しました。



LPガス発電機ってどんなメリットがあるの？

一般的な発電機はガソリンやカセットガスボンベを使用するものが多いですが、災害時にはそのような燃料が調達しにくく、長時間の発電が難しくなります。

「LPガス発電機」は災害時にご家庭のLPガスをそのまま発電機の燃料として使用出来るので、普段の管理もしやすくなります。

自主防災組織代表者 鈴川さんから一言

災害時に地区の拠点となる公会堂の電気を継続的に使用できるよう、LPガスの発電機を購入し設置しました。これを足がかりに防災の意識を高められるようにしていきたいです。



【写真左】
購入した
LP発電機

【写真右】
LPガス発電機
をつないだ様子



【写真左】
LPガス発電機
を使用する様子



富士団地 救急救護訓練を実施

令和6年5月18日(土)、富士団地公会堂にて、稲敷広域消防本部職員協力のもと、応急救護訓練及びAEDの使い方講習が開催されました。

大人から子どもまで幅広い世代が参加し、総勢44名で訓練を行いました。「もしも亀よ～」のリズムで心臓マッサージをすることが効果的ということで、手拍子を交えて歌いながら訓練する場面もありました。

山口区長は「防災や救急という難しいテーマでも、楽しく学び、かつ住民と交流を深める良い機会となった」と述べていました。



AEDの使用方法を確認する様子

西方 防災訓練を実施

令和6年6月8日(土)、西方公会堂にて、炊き出し訓練、初期消火訓練、応急救護訓練を実施しました。暑い日でしたが、炊き出し訓練では汗をかきながら協力して炊き出しを実施していました。

初期消火訓練では、大人から子どもまで積極的に参加し、水消火器の水がなくなるまで楽しみながら訓練を実施しました。

応急救護訓練では、119番の通報要領や胸骨圧迫、AEDの使用要領を学び、体験していました。

参加した方からは、住民と協力して行うことができ、地区との一体感を感じることができたという声も上がっていました。



水消火器で消火する様子